

5 一般地域の色彩ガイドライン

5 一般地域の色彩ガイドライン

01 ゾーン区分について

建築物等の色彩は暖色系の低彩度色を中心としています。その中でも用途ごとの特性が見られます。一般に住宅地では暖かみのある落ち着いた色彩が多く、工業地では威圧感を抑えた明るい色彩が用いられています。このように建築物がもつ用途ごとの特徴を生かすことでその場所のまとまりや特長を顕在化することができます。

ここでは、区の景観を建築用途のまとまりごとに3つの市街地に分類し、それぞれにふさわしい推薦色等を紹介しています。

住宅地

P.29 ~

景観構造図との対応

- ・住宅地景観ゾーン
 - ・農地・屋敷林景観ゾーン
 - ・職・住・学共存景観ゾーン
- (上記のうち景観形成重点地区を除く)

住商混在市街地

P.33 ~

景観構造図との対応

- ・商店街景観ゾーン
 - ・幹線道路景観軸
 - ・街道景観軸
- (上記のうち景観形成重点地区を除く)

住工複合市街地

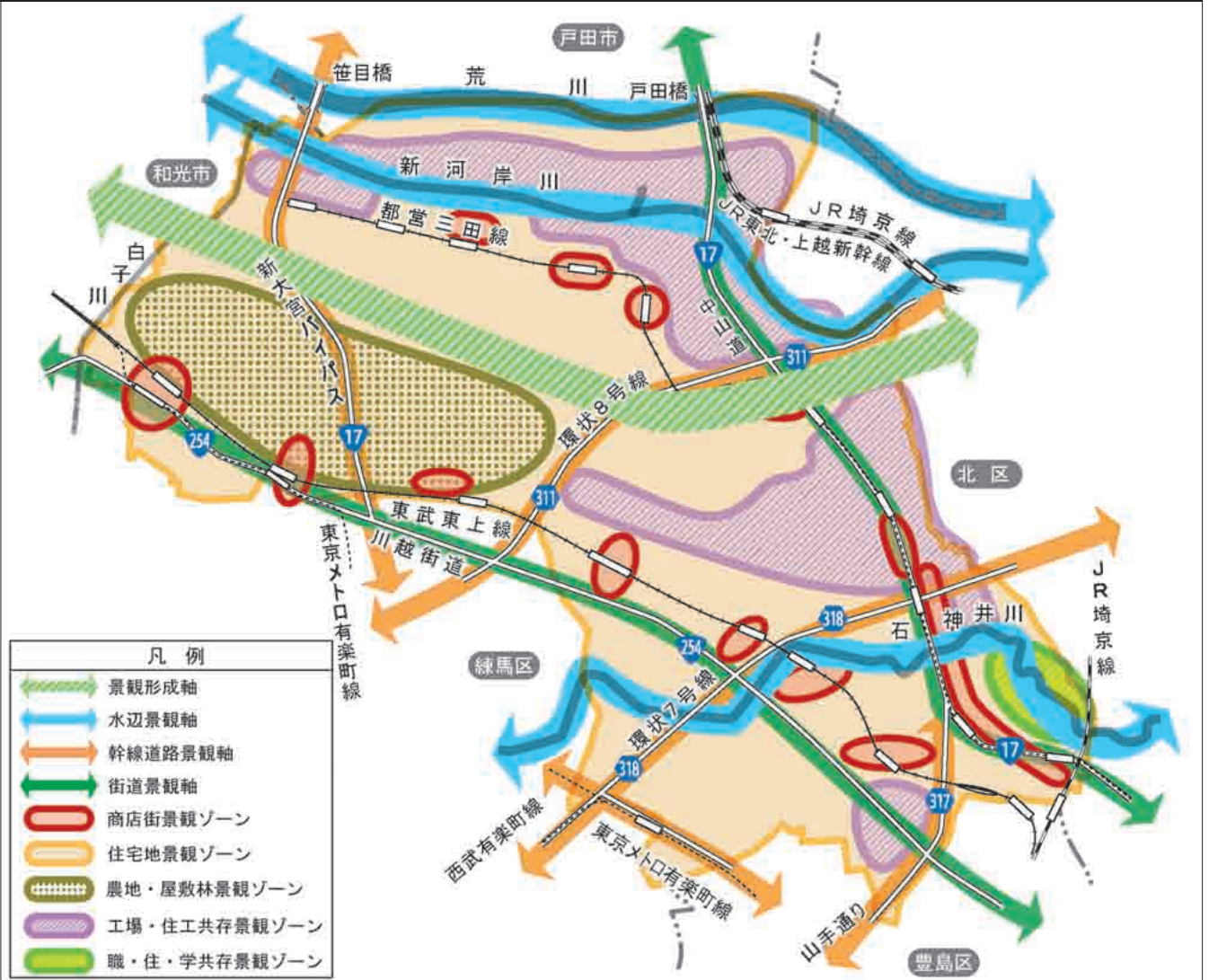
P.37 ~

景観構造図との対応

- ・工場・住工共存景観ゾーン
 - ・職・住・学共存景観ゾーン
- (上記のうち景観形成重点地区を除く)

※周辺に立地する建築物の過半以上が住居系建築物の場合は「住宅地」の色彩ガイドラインに沿って色彩を計画してください。

板橋区の景観構造図



02 住宅地の推奨色と考え方

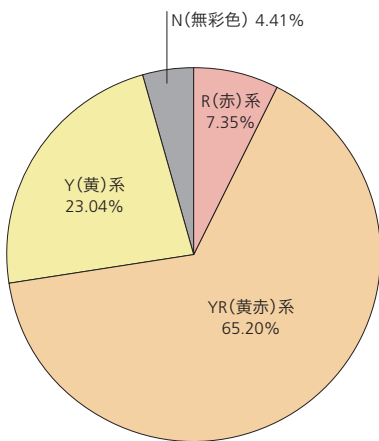
現況の色彩景観の特徴

マンション等の
中高層建築物

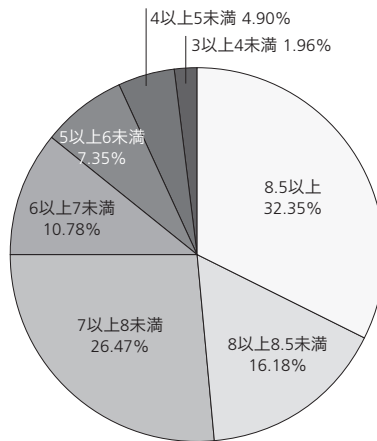
- ・ベージュなどの暖かみが感じられる暖色系色相の低彩度色に集中しており、寒色系色相を基調とした建築物はほとんどありません。
- ・住宅地らしい暖かさや安らぎが感じられる穏やかな色彩景観が形成されています。
- ・ごく一部の高層建築物等で、建物頂部やパラペット等にやや派手な色彩を用いたものが見られ、崖線や公園・緑地などの自然豊かな風景を妨げる要素となっています。

建築物の外壁基本色の使用状況（景観色彩調査の結果より）

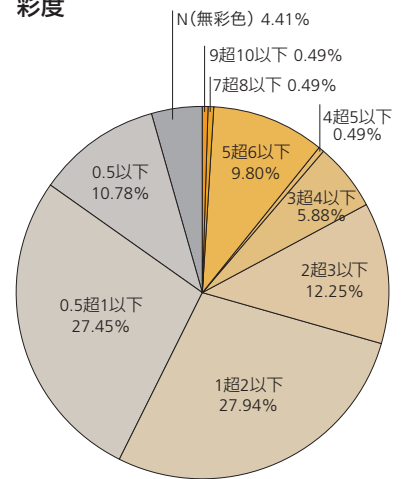
色相



明度



彩度



現況の代表的な色彩景観



住宅らしい暖かく落ち着いた色彩景観の形成

色彩景観形成の考え方

住宅地では、ベージュなどの暖かみを感じられる暖色系色相の低彩度色が基調となっており、暖かさや安らぎを感じられる穏やかな色彩景観が形成されています。

本地域においては、現況の色彩景観をより洗練させて、豊かな緑に調和した住宅地らしい暖かく落ち着いた色彩景観を形成します。

緑豊かなうおいを感じさせる低層部の色彩

板橋区の住宅地では、住宅団地のまとまった植栽や公園・緑地、マンション等の植栽など、豊かな緑がうおいを感じさせる景観を創り出しています。

住宅地の低層部においては、木材や石材などの自然素材やそれと共通性のある暖かさが感じられる落ち着いた色彩を基本とし、豊かな自然の緑がいきいきと映える色彩景観を形成します。

眺望を保全する高層部の色彩

武蔵野台地と荒川低地の起伏に富んだ土地形状から、坂道や板橋崖線を後背地に望む立地など、多様な視点から高層部の色彩が望見されることが想定されます。

このため、住宅地の高層部では、パラペットや建物頂部などへ目立つ色彩を用いることは避け、暖色系の落ち着いた低彩度色を基調とし、街並みとしてのまとまりや連続性を保全します。

色彩景観形成のイメージ

一般地域の住宅地における色彩景観形成のイメージです。

景観形成のイメージ — 周辺景観との対比が強い例



景観形成のイメージ — 改善例

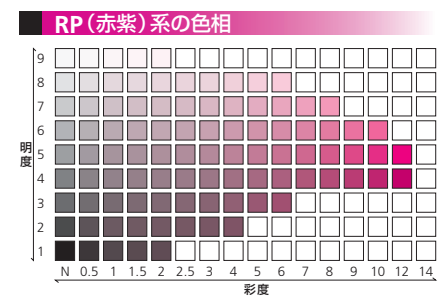
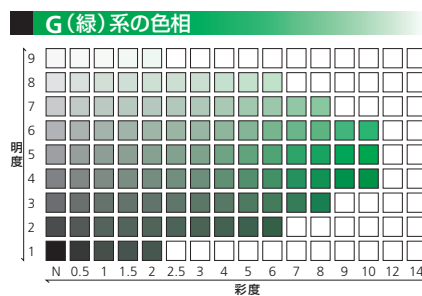
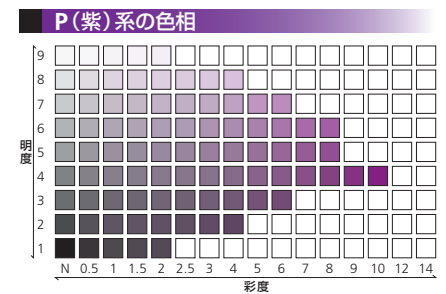
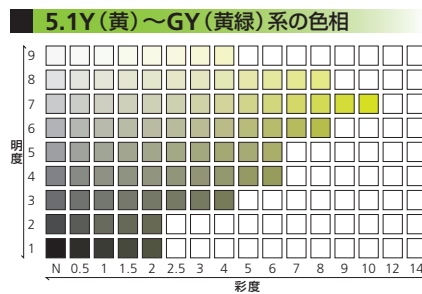
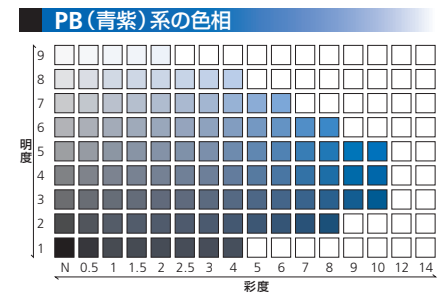
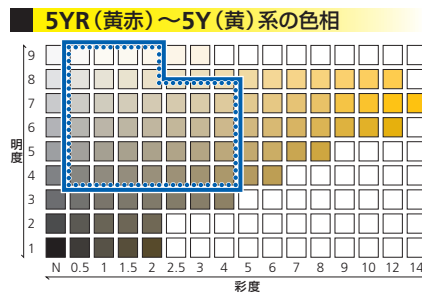
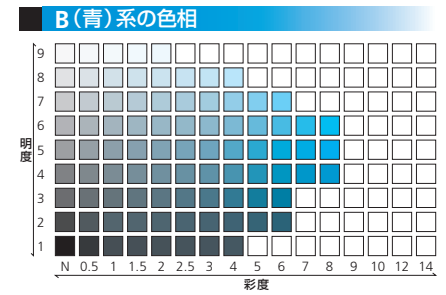
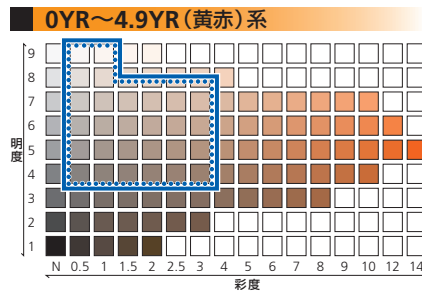
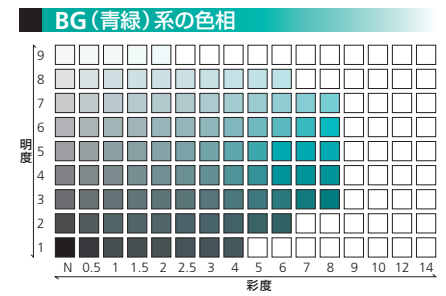
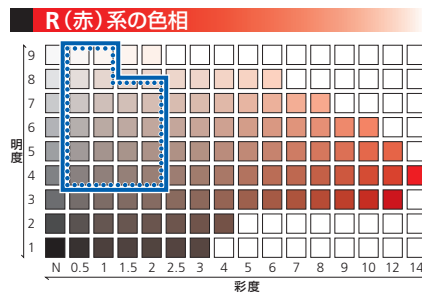


低層部の推奨する色彩の範囲

基準の適用部位		色相	明度	彩度
概ね 高さ 12m 未満の部分	外壁 基本色	OR ~ 10R	4 以上 8.5 未満	2 以下
			8.5 以上	1 以下
		0.0YR ~ 4.9YR	4 以上 8.5 未満	3 以下
			8.5 以上	1 以下
		5.0YR ~ 5.0Y	4 以上 8.5 未満	4 以下
			8.5 以上	2 以下

高層部の推奨する色彩の範囲

基準の適用部位		色相	明度	彩度
概ね 高さ 12m 以上の部分	外壁 基本色	OR ~ 10R	4 以上 8.5 未満	2 以下
			8.5 以上	1 以下
		0.0YR ~ 4.9YR	4 以上 8.5 未満	3 以下
			8.5 以上	1 以下
		5.0YR ~ 5.0Y	4 以上 8.5 未満	4 以下
			8.5 以上	2 以下



凡例

- 外壁基本色・低層部の推奨範囲
概ね高さ12m未満の部分
- 外壁基本色・高層部の推奨範囲
概ね高さ12m以上の部分


低層部・高層部の推奨する色彩の範囲の例

一般地域の住宅地において、外壁基本色に推奨する色彩の範囲の代表例です。


低層部 (概ね高さ12m未満の部分)	高層部 (概ね高さ12m以上の部分)	5.0YR8.5/0.5 [15-85A]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR9.0/1.0 [19-90B]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y9.0/0.5 [25-90A]	5.0Y8.5/0.5 [25-85A]
		5.0YR8.0/1.0 [15-80B]	10YR8.0/2.0 [19-80D]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	2.5Y8.0/2.0 [22-80D]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]
		7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR7.5/1.5 [19-75C]	2.5Y7.5/1.5 [22-75C]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]
		5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	10YR7.0/1.5 [19-70C]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5.0Y7.0/1.0 [25-70B]
		5.0YR6.0/3.0 [15-60F]	10YR6.5/2.0 [19-65D]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	10YR6.0/2.0 [19-60D]	10YR6.0/1.5 [19-60C]	2.5Y6.5/1.5 [22-65C]	5.0Y6.5/1.0 [25-65B]
		5.0YR5.0/2.0 [15-50D]	7.5YR6.0/2.0 [17-60D]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	10YR5.0/1.0 [19-50B]	10YR5.0/2.0 [19-50D]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5.0Y6.0/1.0 [25-60B]
		5.0YR4.0/2.0 [15-40D]	7.5YR5.0/2.0 [17-50D]	7.5YR5.0/3.0 [17-50F]	10YR5.0/3.0 [19-50F]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]	2.5Y5.0/2.0 [22-50D]	2.5Y5.0/1.0 [22-50B]

上段はマンセル値、下段 [] は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。


推奨する色彩を用いた配色の事例




外壁	吹付タイル	2.5Y9.0/1.0	
	タイル	7.5YR7.0/1.0	




外壁	タイル	10YR6.0/3.0	
	タイル	5.0Y6.0/1.0	




外壁	吹付タイル	7.5YR8.0/1.0	
	吹付タイル	10YR8.0/2.5	



外壁	タイル	7.5YR6.5/3.0	
----	-----	--------------	--

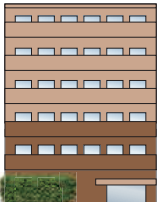


外壁	タイル	5.0YR6.0/2.5	
----	-----	--------------	--

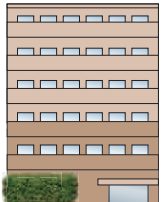


外壁	タイル	10YR6.5/1.0	
----	-----	-------------	--

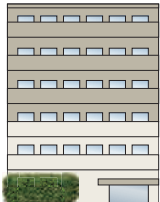
推奨する色彩を用いた配色の例



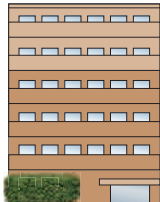
7.5YR7.0/2.0	
7.5YR5.0/3.0	



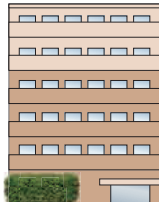
10YR8.0/1.5	
10YR6.5/2.0	



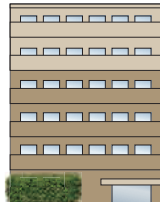
5.0Y7.0/1.0	
5.0Y8.5/0.5	



10YR7.5/2.0	
10YR6.0/3.0	



10YR8.5/1.0	
10YR7.0/2.0	



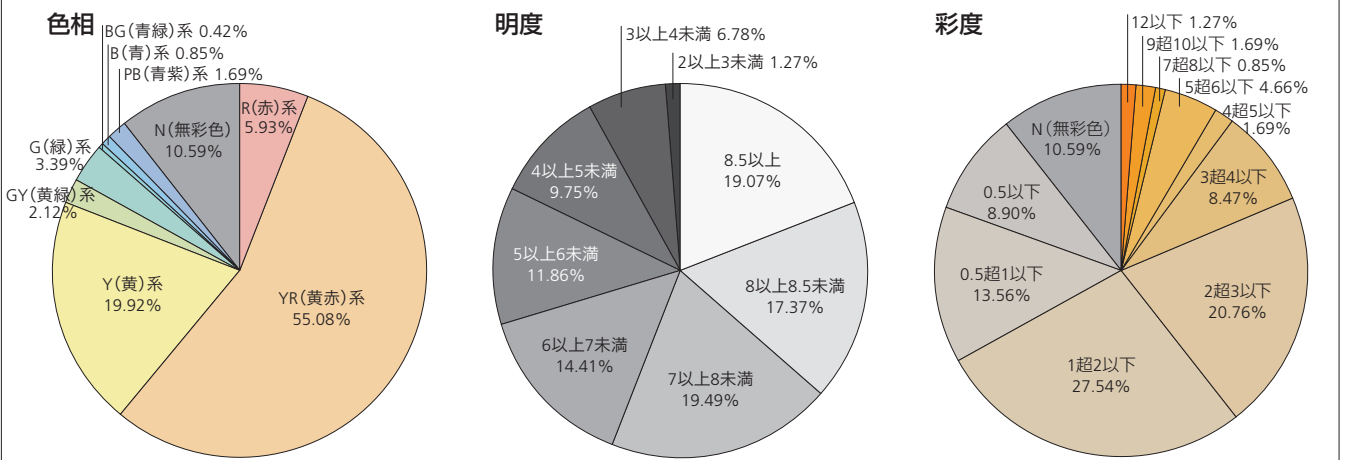
2.5Y8.0/1.0	
2.5Y6.0/2.0	

03 住商混在市街地の推奨色と考え方

現況の色彩景観の特徴

昔ながらの商店街 (板橋宿不動通り、仲宿商店街など)	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の建築物の色彩は、暖色系の落ち着いた色彩が基本となっており、暖かさが感じられる暮らしに密着した商店街らしい景観が形成されています。 ・共通のキャラクターを用いた看板やフラッグなどが地域らしさを演出し、親しみやすい景観が形成されています。 ・多くの商店がテント庇や壁面広告物等を採用しており、多様な色彩がにぎわいを演出していますが、面積が大きく目立ちすぎているものもあります。 ・新しい高層マンション等の低層部にも店舗が入っており、商店が軒を連ねる色彩景観が保全されています。
主要駅前や幹線沿道の商業集積地域 (成増駅、常盤台駅、川越街道など)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要駅前や幹線道路沿道の建築物の多くは、暖かさが感じられる暖色系の低彩度色・中彩度色にまとまっています。 ・一部の商業系建築物等に派手な高彩度色が採用されており、街の玄関口を繁雑に感じさせる要因となっています。 ・壁面や窓面、路上に派手な色彩を多用した広告物が掲出されており、本来の景観のまとまりを見えにくくさせている面もあります。

建築物の外壁基本色の使用状況（景観色彩調査の結果より）



現況の代表的な色彩景観



にぎわいの中にも品格が感じられる色彩景観の形成

色彩景観形成の考え方

住商混在市街地では、暖色系を中心とした落ち着いた色が感じられる低彩度色が基調となっていますが、主要駅周辺や幹線道路沿道では派手な色彩が壁面全面に用いられるなど、本来の景観のまとまりを阻害してしまっているものもあります。

本地域においては、商業地としてのにぎわいの中にも、板橋の顔となり玄関口を担うにふさわしい品格が感じられる景観を形成します。

にぎわいの連続性を形成する低層部の色彩

板橋区には、商店街に様々な業種の店舗が軒を連ねており、常に人々が行き交い活気にあふれた「暮らしある街並み」は、他都市にはない板橋らしい景観を創り出しています。

このため、商業地の低層部においては、派手さを抑えた品格が感じられる色彩を基本とし、石材やタイルなどの質感豊かな材料を用いるなど、にぎわいの連続性を演出します。

眺望を保全する高層部の色彩

高層部の色彩は、遠景からも望見されることから、眺望景観などの広い範囲の景色に影響を与えます。

広幅員の幹線道路沿道などでは、商業施設や中高層の業務ビル等が連続する見通しのある景観が形成されており、区内外からの通行者に板橋区の色彩景観を印象づける重要な色彩要素となります。

街路樹よりも高く望みされやすい高層部の色彩は、落ち着いた色調でまとめて品格が感じられる区全体の景観を守ります。

色彩景観形成のイメージ

一般地域の住商混在市街地における色彩景観形成のイメージです。

景観形成のイメージ — 周辺景観との対比が強い例



景観形成のイメージ — 改善例

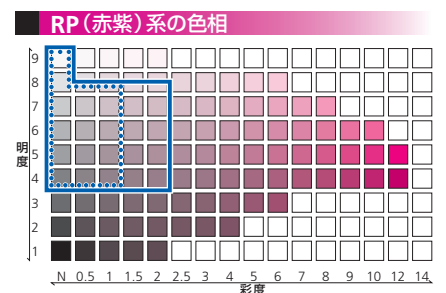
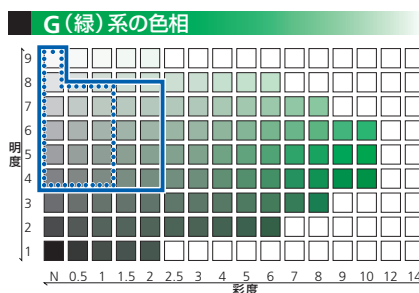
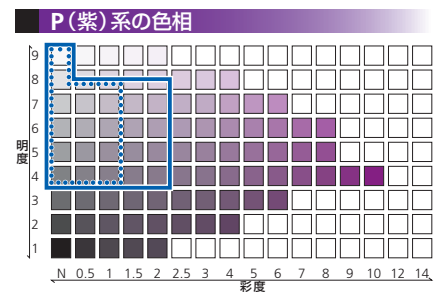
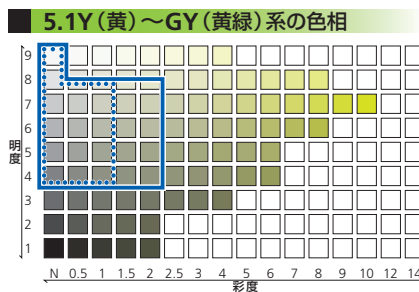
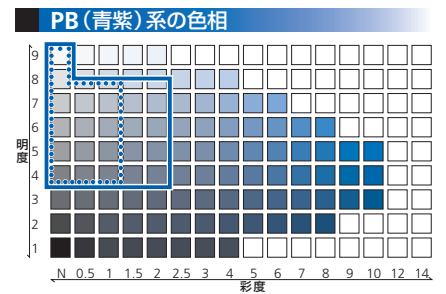
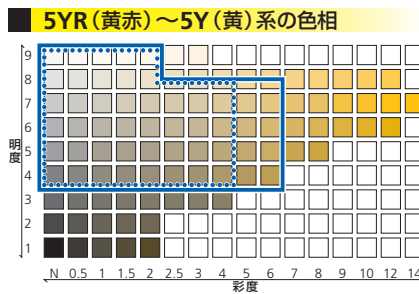
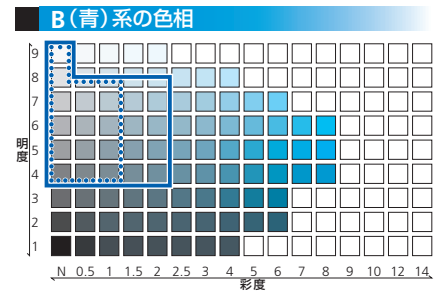
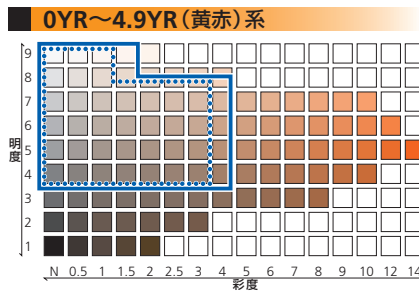
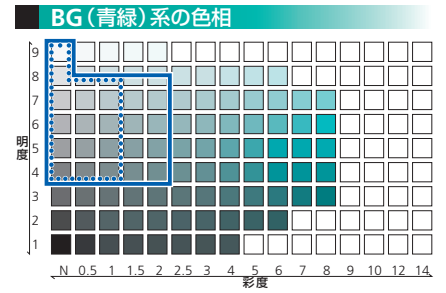
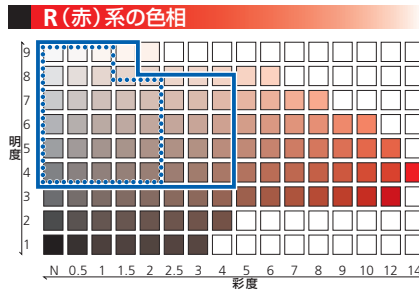


低層部の推奨する色彩の範囲


基準の適用部位	色相	明度	彩度
概ね 高さ 12m 未満の部分	OR ~ 4.9YR	4以上 8.5未満	4以下
		8.5以上	1.5以下
	5.0YR ~ 5.0Y	4以上 8.5未満	6以下
		8.5以上	2以下
	その他	4以上 8.5未満	2以下
N	4以上	—	


高層部の推奨する色彩の範囲

基準の適用部位	色相	明度	彩度
概ね 高さ 12m 以上の部分	OR ~ 10R	4以上 8.5未満	2以下
		8.5以上	1以下
	0.0YR ~ 4.9YR	4以上 8.5未満	3以下
		8.5以上	1以下
	5.0YR ~ 5.0Y	4以上 8.5未満	4以下
		8.5以上	2以下
その他	4以上 8.5未満	1以下	
N	4以上	—	



凡例

 外壁基本色・低層部の推奨範囲
概ね高さ12m未満の部分

 外壁基本色・高層部の推奨範囲
概ね高さ12m以上の部分

低層部・高層部の推奨する色彩の範囲の例

住商混在市街地において、外壁基本色に推奨する色彩の範囲の代表例です。

● 商業系建築物の場合 ●
● 住居系建築物の場合 ●

低層部 (概ね高さ12m未満の部分)	高層部 (概ね高さ12m以上の部分)	5.0YR8.5/1.0 [15-85B]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y9.0/1.0 [25-90B]	5.0BG8.0/0.5 [55-80A]	5.0Y9.0/0.5 [25-90A]
		10YR8.0/2.0 [19-80D]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]	5.0PB8.0/0.5 [75-80A]	5.0Y8.5/0.5 [25-85A]
		7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR7.0/1.5 [19-70C]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]	5.0B7.0/0.5 [65-70A]	5.0Y8.0/0.5 [25-80A]
		5.0YR6.0/3.0 [15-60F]	7.5YR6.0/2.0 [17-60D]	10YR6.0/2.0 [19-60D]	2.5Y6.5/1.5 [22-65C]	5.0Y6.5/1.0 [25-65B]	5.0B7.0/1.0 [65-70B]	5.0Y7.0/0.5 [25-70A]
		7.5YR6.0/4.0 [17-60H]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5.0Y6.0/1.0 [25-60B]	5.0PB6.0/1.0 [75-60B]	5.0Y6.5/0.5 [25-65A]
		2.5YR5.0/4.0 [20-50H]	7.5YR5.0/2.0 [17-50D]	10YR5.0/3.0 [19-50F]	10YR5.0/2.0 [19-50D]	2.5Y5.0/2.0 [22-50D]	5.0GY5.0/1.0 [35-50B]	5.0Y5.0/1.0 [25-50B]
		5.0YR4.0/4.0 [15-40H]	7.5YR4.0/4.0 [17-40H]	7.5YR5.0/3.0 [17-50F]	10YR5.0/4.0 [19-50H]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]	5.0BG5.0/1.0 [55-50B]	5.0Y4.0/1.0 [25-40B]

上段はマンセル値、下段 [] は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。

推奨する色彩を用いた配色の事例

外壁	吹付タイル	10YR8.5/1.0
屋根	いぶし瓦	5.0Y5.0/0.5

外壁	塗装	10YR9.0/0.5
	木材	5.0YR4.0/2.0

外壁	タイル	7.5YR7.0/3.0
----	-----	--------------

外壁	金属板	2.5Y8.5/0.5
	金属板	5.0Y6.5/0.5

外壁	タイル	10YR7.5/1.5
	タイル	10YR7.0/2.0

外壁	タイル	10YR6.5/3.0
	自然石	5.0Y5.0/0.5

推奨する色彩を用いた配色の例

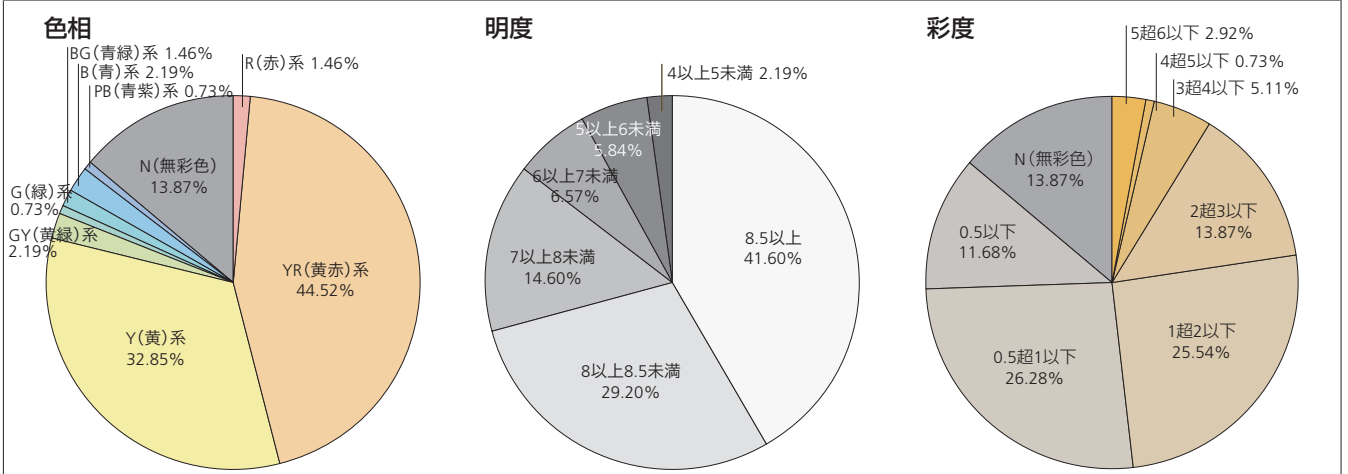
7.5YR8.0/2.0 7.5YR6.0/2.0 7.5YR5.0/3.0	10YR8.5/1.0 10YR7.0/3.0 10YR5.0/3.0	10YR8.0/1.0 10YR6.0/2.0 10YR4.0/3.0	2.5Y8.5/1.0 2.5Y7.0/2.0 5.0Y9.0/0.5	5.0Y7.0/0.5 5.0Y9.0/0.5	5.0Y8.0/0.5 5.0PB6.0/1.0

04 住工複合市街地の推奨色と考え方

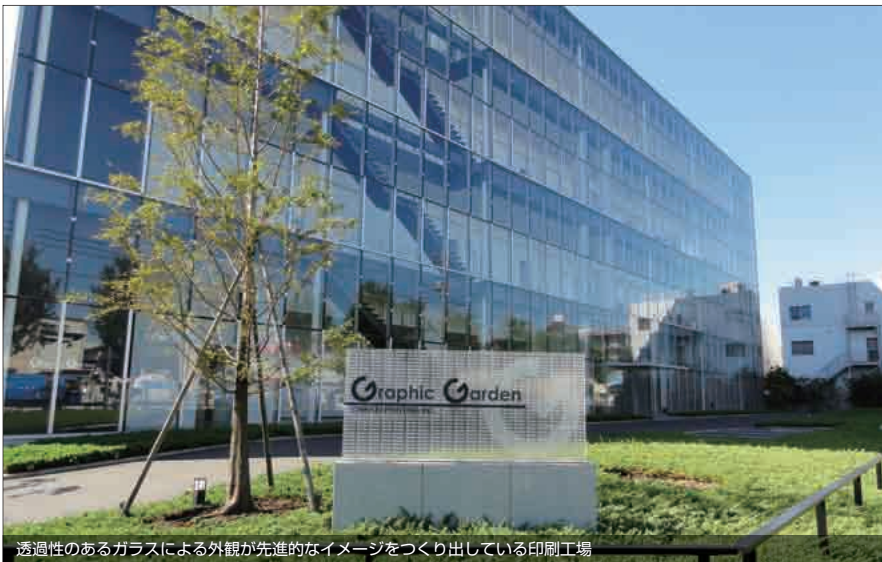
現況の色彩景観の特徴

工業主体の地域 (舟渡、新河岸など)	<ul style="list-style-type: none"> 工業系の建築物は、白やアイボリーなど明るい低彩度色でまとまりがあり、高明度・低彩度基調の街並みが形成されています。 明るい色調を基調色に外観に変化をつける色彩を部分的に用いた親しみやすい工場や、ガラスや金属の素材色を活かした新しい工場が立地しています。
工業と住宅が混在する地域 (小豆沢、前野など)	<ul style="list-style-type: none"> 工場跡地に立地した大規模なマンションや戸建住宅など、工場と住宅が密接して混在しており、住宅地主体の景観が形成されつつあります。 暖かみを感じられる暖色系が主体となっており、工場等にも住宅地と調和する暖かさが感じられる穏やかな色彩が採用されています。 白っぽく明るい色調が基本となっている工場に対し、周辺のマンション等の住宅では暗く重厚感のある色彩が用いられており、やや連続性が感じられない面もあります。

建築物の外壁基本色の使用状況（景観色彩調査の結果より）



現況の代表的な色彩景観



暮らしと工業地をつなぐ親しみやすく明るい色彩景観の形成

色彩景観形成の考え方

住工複合市街地では、白やアイボリーなど明るい低彩度色の建築物が大変多く、高強度・低彩度基調の街並みが形成されているため、こうした現況の色彩のまとまりを伸張する色彩基準となっています。

明るい色調を基調とすることで、閉鎖的になりがちな工業地の景観に開放感や清潔感を与え、親しみやすい景観を創出します。

明るい色調でまとめる低層部の色彩

街並みの連続性を形成する低層部では、本地域の色彩景観の特徴となっている明るい色調でまとめます。

マンションなどの住居系建築物等と工場などの工業系建築物等が混在している場合は、住居等は重たい印象の暗い色調を避けて明るい色調を基本とし、工場等は寒色系色相を避けて暖かさが感じられる色彩とするなど、相互の色彩の調和に配慮して連続性が感じられる色彩景観を形成します。

眺望を保全する高層部の色彩

高層部の色彩は、遠景からも望見されることから、眺望景観などの広い範囲の景色に影響を与えます。

本地域は、荒川や新河岸川などの視点場から眺望が広がっています。閉鎖的な印象の低明度色は避け、明るく開放的な高強度の穏やかな低彩度色を基本とし、望見される屋根面や屋上面についても落ち着いた色彩を基本とします。

また、工場跡地などに開発される大規模マンション等では、高層部に目立つ鮮やかな高彩度色や対比の強い配色を用いることは避け、周辺に馴染みやすい落ち着いた色彩として眺望景観を保全します。

色彩景観形成のイメージ

一般地域の住工複合市街地における色彩景観形成のイメージです。

景観形成のイメージ — 周辺景観との対比が強い例



景観形成のイメージ — 改善例



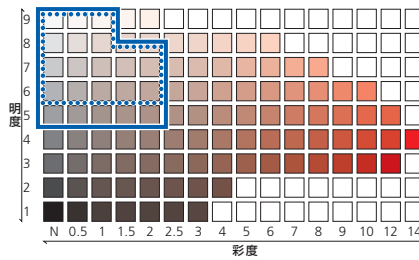
低層部の推奨する色彩の範囲

基準の適用部位	色相	明度	彩度
概ね 高さ 12m 未満の部分	0R ~ 10R	5 以上 8.5 未満	2 以下
		8.5 以上	1 以下
	0.0YR ~ 4.9YR	5 以上 8.5 未満	3 以下
		8.5 以上	1 以下
	5.0YR ~ 5.0Y	5 以上 8.5 未満	4 以下
		8.5 以上	2 以下
その他	5 以上 8.5 未満	2 以下	
N	5 以上	—	

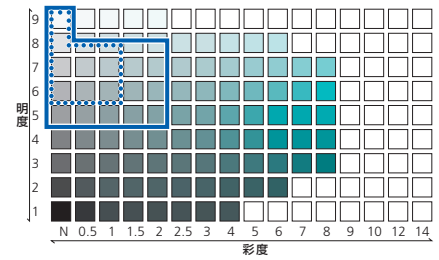
高層部の推奨する色彩の範囲

基準の適用部位	色相	明度	彩度
概ね 高さ 12m 以上の部分	0R ~ 10R	6 以上 8.5 未満	2 以下
		8.5 以上	1 以下
	0.0YR ~ 4.9YR	6 以上 8.5 未満	3 以下
		8.5 以上	1 以下
	5.0YR ~ 5.0Y	6 以上 8.5 未満	4 以下
		8.5 以上	2 以下
その他	6 以上 8.5 未満	1 以下	
N	6 以上	—	

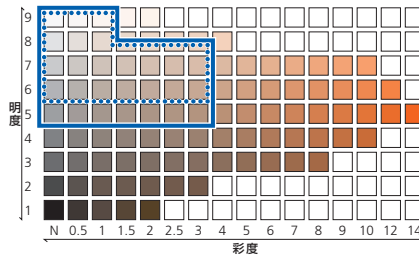
R (赤) 系の色相



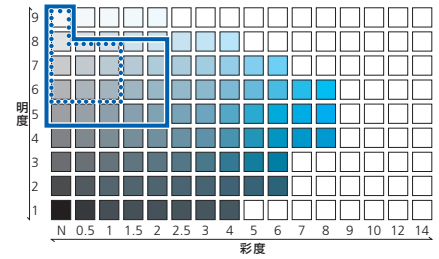
BG (青緑) 系の色相



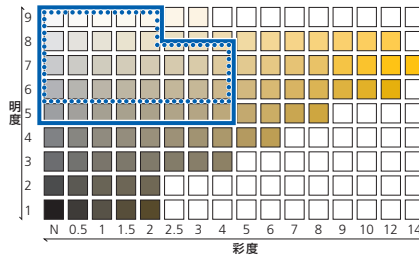
0YR ~ 4.9YR (黄赤) 系



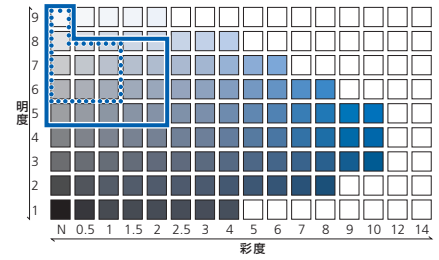
B (青) 系の色相



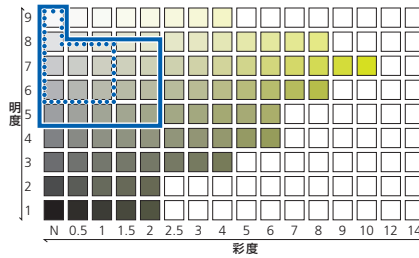
5YR (黄赤) ~ 5Y (黄) 系の色相



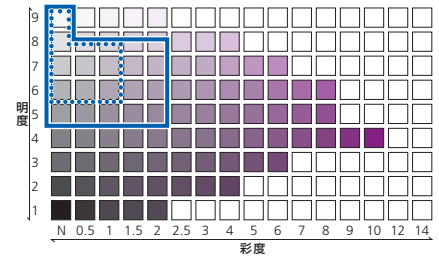
PB (青紫) 系の色相



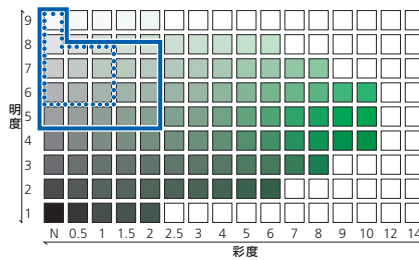
5.1Y (黄) ~ GY (黄緑) 系の色相



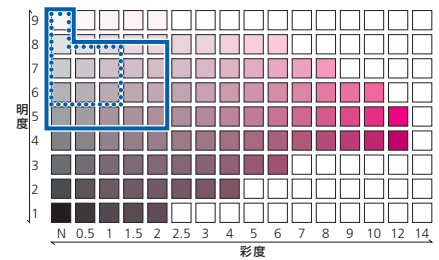
P (紫) 系の色相





G (緑) 系の色相



RP (赤紫) 系の色相



凡例

-  外壁基本色・低層部の推奨範囲
概ね高さ12m未満の部分
-  外壁基本色・高層部の推奨範囲
概ね高さ12m以上の部分

低層部・高層部の推奨する色彩の範囲の例

住工複合市街地において、外壁基本色に推奨する色彩の範囲の代表例です。

工業系建築物の場合
住居系建築物の場合

低層部 (概ね高さ12m未満の部分)	高層部 (概ね高さ12m以上の部分)	10YR8.5/1.0 [19-85B]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y8.5/1.0 [25-85B]	5.0Y9.0/0.5 [25-90A]	10B8.0/1.0 [69-80B]	N9.0 [N-90]
		5.0YR8.5/0.5 [15-85A]	10YR8.5/0.5 [19-85A]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]	5.0Y8.5/0.5 [25-85A]	5.0PB8.0/0.5 [75-80A]	N8.5 [N-85]
		10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	2.5Y8.0/1.5 [22-80C]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]	5.0BG8.0/0.5 [55-80A]	5.0B8.0/1.0 [65-80B]	N8.0 [N-80]
		10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR7.5/1.5 [19-75C]	2.5Y7.5/1.5 [22-75C]	5.0Y7.5/1.5 [25-75C]	5.0BG7.0/0.5 [55-70A]	5.0PB7.5/0.5 [75-75A]	N7.0 [N-70]
		7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.0/1.5 [19-70C]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5.0Y7.0/1.5 [25-70C]	10Y7.0/1.0 [29-70B]	5.0B7.0/1.0 [65-70B]	N6.5 [N-65]
		10YR6.5/2.0 [19-65D]	10YR6.0/2.0 [19-60D]	2.5Y6.0/1.0 [22-60B]	5.0Y6.0/1.0 [25-60C]	5.0B6.0/1.0 [65-60B]	5.0PB6.0/1.0 [75-60B]	N6.0 [N-60]
		7.5YR5.0/2.0 [17-50D]	10YR5.0/2.0 [19-50D]	2.5Y5.0/2.0 [22-50D]	5.0Y5.0/1.0 [25-50B]	5.0GY5.0/1.0 [35-50B]	5.0BG5.0/1.0 [55-50B]	N5.5 [N-55]

上段はマンセル値、下段 [] は日本塗料工業会標準色見本帳番号を表しています。

推奨する色彩を用いた配色の事例



外壁	金属板 ガラス	10YR9.0/0.5 素材色 (無着色)
----	------------	--------------------------



外壁	吹付タイル	N8.5
----	-------	------



外壁	金属板	5.0Y8.0/0.5
----	-----	-------------



外壁	吹付タイル	10YR8.0/0.5
----	-------	-------------




外壁	塗装	N9.0
----	----	------




外壁	タイル	10YR7.5/2.0
屋根	タイル	5.0YR6.0/3.0

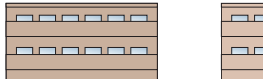
推奨する色彩を用いた配色の例




5.0PB6.0/1.0	N8.5
--------------	------




5.0BG6.0/1.0	N8.0
--------------	------



10YR7.5/1.5	10YR6.0/2.0	10YR5.0/3.0
-------------	-------------	-------------



10YR8.0/1.5	10YR6.5/2.0
-------------	-------------



2.5Y7.5/1.0	2.5Y6.0/1.5
-------------	-------------